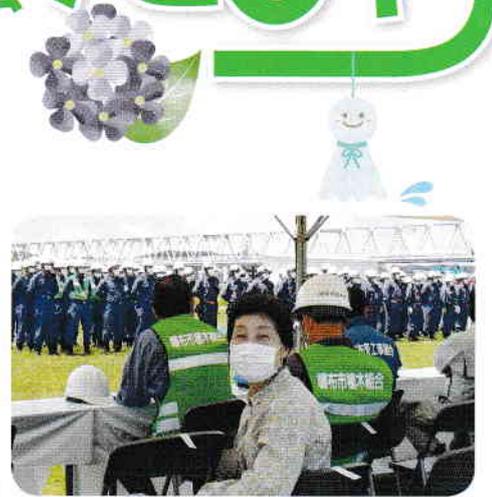


4月23日 防災教育の日 三中での応急給水訓練



5月28日 総合水防訓練に参加中の中島会長

～ 定例総会のご報告 ～

5月14日すぎもり地区協議会の令和4年度定例総会を開催。令和3年度活動報告・決算報告、令和4年度活動方針・予算案の4議案すべてが審議承認されました。



風水害に備えよう 地域でつながり災害対策



「三中の学びサポートに取り組んで」 地域コーディネーター 大町恵子・北川原敦子

地域学校協働本部が三中で本格的に始動したのは平成31年です。学校での教育活動を支援することが目的で、地域の方々にボランティアで協力いただくための人材確保や調整をすることが地域コーディネーターの役割です。

学校の要請は各校により異なり、三中では学習支援として「学びサポート」を、また夜間の学校施設使用の団体の調整や副校長との連絡等を担っています。

「学びサポート」は中学1年生を対象に、放課後に学習支援を行っています。参加の希望者を募り、英語・数学を学習しています。ボランティアで参加してくれている方々は、三中卒業生の保護者や塾の先生や教員だった方、市内の

団体・数援隊の方、また知り合いのつてを頼り賛同いただいた方、三中卒業生も時おり参加してくれています。

水曜日の午後2時40分～4時までの限られた時間ですが、持参したドリルの宿題をこなしたり、理解が深まっていない箇所を勉強したり、定期テスト前はテスト範囲を復習したり…と生徒の希望する進捗で学習をしています。

苦手な所を克服したい、部活までの間に宿題を済ませたい、部活に再登校するのは時間的に無理なのでその間に勉強しよう…など生徒の目的も思いも様々です。

「学びサポート」を開始したものの、コロナ禍の緊急事態宣言等で年間を通して活動できていないのが現状です。今年初めて5月から開講できましたので、順調に年間スケジュールが進むことを願っています。

目に見える学習成果があったのかどうか手探り状態ですが、これからも長く続けていけるように、ボランティアの皆さんと一緒に進めていきたいと思います。

学習ボランティアにご協力いただける方は下記までご連絡ください。



ホームページアドレス <http://sugimori.net>

✉ chikukyo@sugimori.net

防災教育の日

調布市職員のリーダーさんを中心に訓練が行われました。すぎもり地区協議会では健全育成や地域の方と一緒に、杉森小と三中に分かれて応急給水訓練や避難所の建物利用調査に参加しました。

(写真は杉森小での訓練風景)



下畑サブリーダー 坂本リーダー 栗原サブリーダー 川添サブリーダー



まずは校門の
開け方から



応急給水の道具



PTA会長・岩井さんもトライ



長友市長が
訓練を視察



「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、
災害時には、**危険な場所にいる人は
避難することが原則です。**

知っておくべき5つのポイント

- 避難とは[難]を[避]けること。
安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- 避難先は、小中学校・公民館ではありません。**安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。**
- **マスク・消毒液・体温計が不足しています。できるだけ自ら携帯して下さい。**
- 市町村が指定する**避難場所、避難所が変更・増設されている可能性があります。災害時には市町村ホームページ等で確認して下さい。**
- 豪雨時の屋外の移動は**車も含め危険です。やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認して下さい。**

内閣府（防災担当）・消防庁

気象庁は令和4年6月1日から、集中豪雨をもたらす「**線状降水帯***」について、発生の日前に予測情報の発表を開始しました。空振りの可能性があっても、こまめに情報をチェック、油断せず早めの準備をしましょう。

*線状降水帯とは、水蒸気を大量に含んだ空気が狭い範囲に流れ込み発生。線のように並んだ積乱雲がほぼ同じ場所で集中豪雨をもたらす現象。大雨災害が発生する可能性がある。



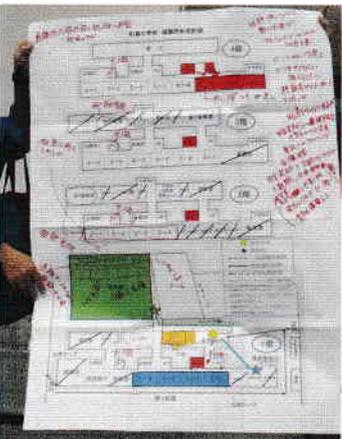
初めて知りました🍀 応急給水できる場所



断水時に役立つ応急給水訓練



清水校長先生も参加



避難所利用計画図を使って



皆で意見交換

2022年ペット同伴避難アンケート結果のまとめ

すぎもり地区協議会 副会長
大町 忠敏

すぎもり地区協議会では、災害時のペット同伴避難(=避難所でペットと一緒に過ごすこと)の実現に向けて活動してきました。コロナ以前にペットと一緒に訓練をしましたが、昨年はコロナ禍のため散歩中の飼い主さんにインタビュー形式でアンケート調査を行いました。

本年のアンケート調査は、昨年のアンケート回答者のうち住所記入のあった62名の方に、アンケート用紙を郵送する方法で3月～4月に実施、27名から回答を得ました。

氏名などを手がかりに、前回と今回の回答を比較できた方は18名で、そのうち同行避難(=避難所でペットと離れて過ごすこと)でも避難所を使うと回答された方は1名、その他の方は同伴避難または自宅で過ごすと回答されました。

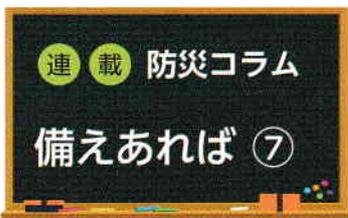


| 物品 | 割合 | 物品 | 割合 | 物品 | 割合 |
|-----------------|-------|----------|-------|------------------------|-------|
| フード | 93.3% | 水 | 60.0% | リード・首輪・名札 | 26.7% |
| 排泄物の処理用品 | 86.7% | 食器 | 53.3% | 既往症・健康状態・かかりつけ病院がわかるもの | 26.7% |
| ペットシート | 80.0% | ワクチン接種記録 | 53.3% | 薬・療法食 | 20.0% |
| キャリーバッグ | 66.7% | ブラシ等ケア用品 | 46.7% | 夏場であればペット用蚊取り線香 | 4.0% |
| ペットの写真(スマホ等に保存) | 66.7% | おもちゃ | 40.0% | | |
| ケージ | 60.0% | 飼い主連絡先 | 40.0% | | |
| | | ケージを覆う布 | 33.3% | | |

上の表はペットの防災グッズについての回答です。避難所にはペットのための備蓄はありませんので、ふだんから備えを心がけましょう。同伴避難であっても避難所では、ペットは自宅のように自由に動き回ることができません。基本はケージの中で生活します。ケージを嫌がるペットもいるので、ふだんからペットにとってケージの中は安心できると思えるようにしておくことが大切です。

今回の調査でもペット飼育者の多くがペット同伴避難訓練を望んでいることがハッキリしました。コロナが治まったら、ペット同伴避難訓練を再度実施したいと思います。

詳しいアンケート結果はすぎもり地区協議会のホームページをご覧ください。



「防災士研修講座を受講して」

地域ネット担当 加藤洋子

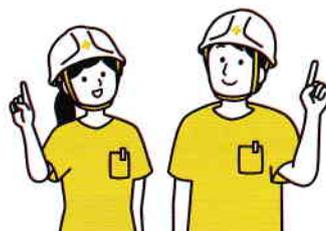
5月21日・22日、防災士資格取得のための研修講座を受講しました。

防災士制度は、阪神・淡路大震災を教訓として地域や社会全体の防災力を高め、減災につなげるために誕生しました。

防災士とは“自助”“共助”“協働”を原則として、社会の様々な場で、防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを、日本防災士機構が認証した人で、令和4年(2022年)年4月現在、全国で23万人以上の防災士が活動しています。

防災士に期待される役割として最も大切なのは、事前対策・予防対策・市民啓発活動など、平常時に余裕をもって協働で備えることです。令和元年(2019年)台風19号の影響で浸水被害があった長野市では、事前に地域の特性や過去の災害履歴を生かした地区防災計画が練られ、訓練していたため共助につながりました。

今後の課題として、地域に新しく住み始めた人々との交流や啓発活動の必要性を感じました。また、毎年約100名の都立高校生が「東京都合同防災キャンプ事業」に参加、防災士資格を取得しているとのこと。年齢・所属にかかわらず学んで活かす人が増えると心強い地域になると思います。



『地域を知ろう』

フラップゲート

(染地二丁目信号付近)



管の吐口に設置する設備。平時は上流の水を下流(吐口側)に流すが、下流の水位上昇時には弁が閉じ逆流を防ぐ。

杉森小学校50周年記念式典

10月21日(金)

杉森地域運動会

10月23日(日)

染地児童館30周年イベント わか^わ町フォトアート

写真募集：7月中旬頃まで

染地児童館地域にかかわる風景・人物の写真

展示期間：11月13日(日)～令和5年3月31日(金)



みなさまの参加を
お待ちしております!



生活の相談、
仲間づくりの相談等は…

「調布市社会福祉協議会 市民活動支援センター」へ

染地地域福祉センター改修工事に伴う休館と臨時業務体制のおしらせ

染地地域福祉センターの改修工事に伴い、ボランティアコーナーが休館(8月1日～令和5年3月末)します。休館中、渡邊は国領駅にある市民活動支援センターが拠点になります。ご相談は、下記までご連絡をいただくか、同じ社協コーディネーターの中村・北島までお願いいたします。

- 市民活動支援センター(国領駅) TEL 443-1220 火～土 9:00～17:00
ボランティアコーディネーター 渡邊久美子
- 調布市総合福祉センター(調布駅) TEL 481-7693 月～金 8:30～17:30
地域福祉コーディネーター 中村竜 地域支え合い推進員 北島正也



左より 中村、渡邊、北島

福祉や介護に関する相談等は…

「調布市地域包括支援センターときわぎ国領」へ

高齢の方やそのご家族が、地域で安心して暮らせるよう、福祉や介護に関する様々な相談ができる総合相談窓口として調布市から委託を受けている機関です。担当地区は、染地2、3丁目、国領町7、8丁目(8丁目1、4番地を除く)です。お電話での相談や、状況に応じて職員がご自宅に訪問することもでき、適切なサービス等をご案内しております。

どなた様もお気軽にご相談・ご連絡ください。

●所在地：
国領町7-32-2 デュスモン国領101
(クリエイト国領町店 東隣)

☎050-5540-0860

●開所：
月～土 9時～18時
夜間及び日曜は
転送電話対応



青空とタチアオイ
(多摩川住宅八棟)

■ 高齢者にご家族向け 出前講座のおしらせ

①今年夏はバテ知らず!～暑さに負けない身体作り～

最近暑い日が多くなってきました。今年の夏は例年よりも暑くなると言われています。身体も動かしながら学び、本格的に夏を迎える前に、今から準備をして今年の夏を乗り切りましょう! 介護予防の運動「10の筋力トレーニング」のお試しも行います。

②今後のために備えておきたい!～成年後見について～

「今は元気だが、もし認知症になったら財産の管理など心配だ」「家族が物忘れが進んできた、今後どうすれば良いんだろう」と不安に思うことはありませんか? 成年後見制度(法定後見・任意後見)について学び、今後に備えておきましょう。

日時：①令和4年7月16日(土) 10:00～11:30

②令和4年7月30日(土) 10:00～11:30

講師：①地域包括支援センターときわぎ国領 保健師 大関朱音

②行政書士 李國彦氏

会場：染地地域福祉センター(染地3-3-1)およびZOOM配信

定員：会場30名 ZOOMは制限なし

対象：ご興味ある方であればどなたでも

申込：会場参加の場合は申込は不要です。当日直接会場にお越しください。

ZOOM参加の場合はタイトルに「①・②+講座希望」、本文に氏名・住所・連絡先を記載していただき、houkatsu@tokiwagi.orgにメールを送りください。講座前日までにZOOM招待メールをお送りいたします。

主催：地域包括支援センターときわぎ国領 TEL 050-5540-0860

参加者募集!

